

2021年度 第1四半期 決算概要

I. 2021年度 第1四半期 連結業績概要

II. 補足資料

シャープ株式会社

2021年8月5日

【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社(以下、総称して「シャープ」という)の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

※前年増減額等は、表示された億円単位の金額を元に算出しております。

※開示セグメント及び略号

スマートライフ(SL)、8Kエコシステム(8K)、ICT(ICT)、ディスプレイデバイス(DD)、エレクトロニックデバイス(ED)

I . 2021年度 第1四半期 連結業績概要

- ・ 本日はご多忙な中、ご参加頂き ありがとうございます。
また日頃は、当社の広報(IR)活動にご協力頂き、まことにありがとうございます。
- ・ それでは、パワーポイント資料に沿って、ご説明いたします。

2021年度 第1四半期 連結業績概要(1)

- ・ 半導体隘路や原材料価格高騰、物流コスト増など厳しい事業環境下、ブランド事業・デバイス事業とも引き続き堅調に推移、営業利益は前年同期比 1.9倍、最終利益は 2.6倍に大幅伸長
- ・ 白物家電・テレビは、高付加価値化を進めたことなどから国内で好調が継続、海外も大きく伸長
- ・ 新型コロナウイルスの影響から、前年同期は業績が落ち込んだMFP事業、ディスプレイデバイスも大幅に回復

SHARP

2

- ・ 2021年度 第1四半期の連結業績概要になります。
- ・ 半導体隘路や原材料価格の高騰、物流コストの増加などの厳しい事業環境下、ブランド事業・デバイス事業とも引き続き堅調に推移し、営業利益は前年同期比 1.9倍、最終利益は 2.6倍と大幅に伸長しました。
- ・ 白物家電・テレビは、高付加価値化を進めたことなどから国内での好調が継続するとともに、海外も大幅に伸長しました。
- ・ 加えて、新型コロナウイルスの影響などから前年同期は業績が落ち込んだMFP事業、ディスプレイデバイスも大幅に回復しております。

2021年度 第1四半期 連結業績概要(2)

(単位:十億円)

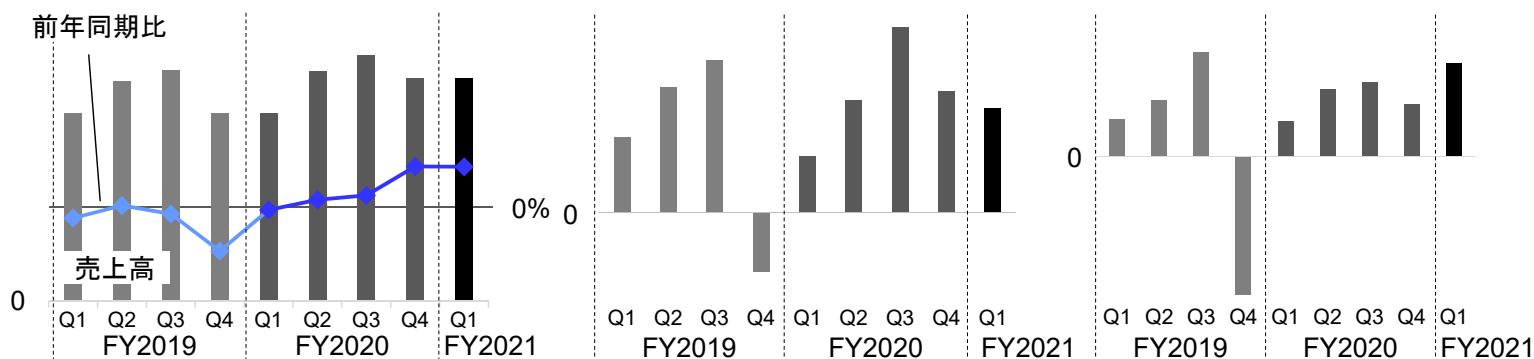
	2020年度				2021年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前同比
売上高	514.4	628.9	673.4	609.0	611.5	+18.9%
営業利益	9.8 (1.9%)	19.7 (3.1%)	32.3 (4.8%)	21.1 (3.5%)	18.3 (3.0%)	+86.3%
経常利益	11.2 (2.2%)	18.5 (3.0%)	13.9 (2.1%)	19.3 (3.2%)	25.6 (4.2%)	2.3倍
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8.1 (1.6%)	15.5 (2.5%)	17.3 (2.6%)	12.1 (2.0%)	21.6 (3.5%)	2.6倍
平均為替レート						
ドル円	106.62	105.22	103.51	104.90	108.49	
ユーロ円	116.97	122.61	123.03	126.18	130.45	

売上高

営業利益

親会社株主に帰属する四半期純利益

前年同期比



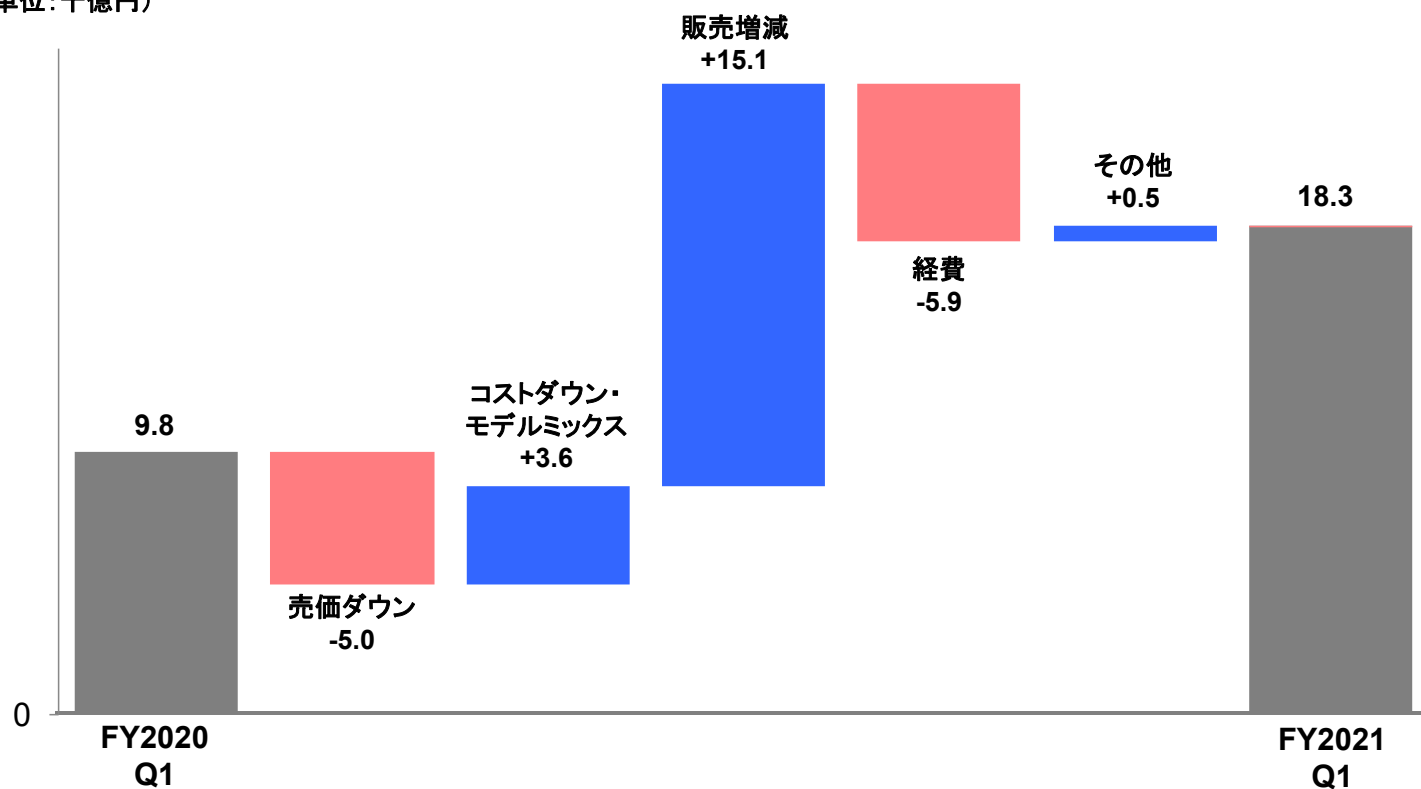
SHARP

3

- ・ 続いては、2021年度 第1四半期の業績数値です。
- ・ 売上高は、前年同期比 18.9%増の 6,115億円となりました。
- ・ 利益につきましては、
営業利益が 86.3%増の 183億円、
経常利益が 2.3倍の 256億円、
最終利益が 2.6倍の 216億円となりました。

2021年度 第1四半期 営業利益 要因別増減分析(対前年同期)

(単位:十億円)



SHARP

4

- ・ 次のグラフは、2021年度 第1四半期の営業利益の前年同期に対する増減を要因別にまとめたものです。
- ・ 2021年度 第1四半期は、「売価ダウン」による50億円の収益の減少、「コストダウン・モデルミックス」による36億円の収益の改善、「販売増減」による151億円の利益の増加、「経費」の増加による59億円の利益の減少などがありました。

2021年度 第1四半期 セグメント別増減分析(対前年同期)

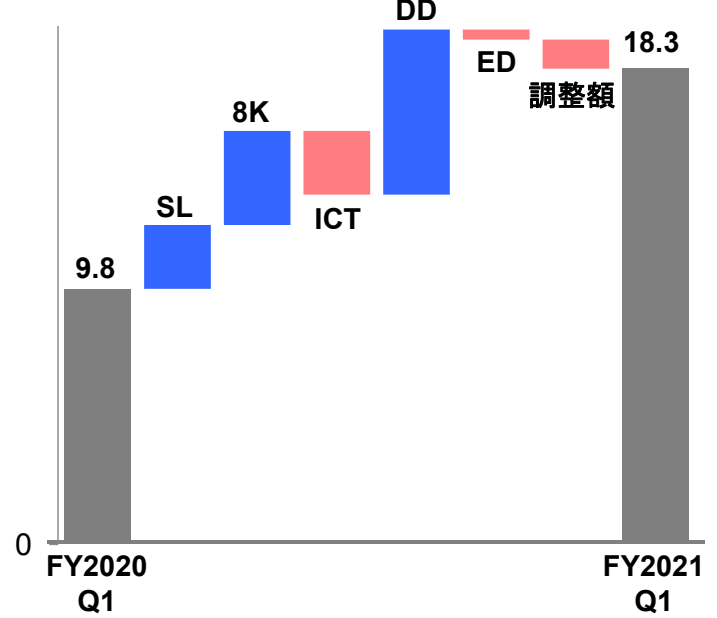
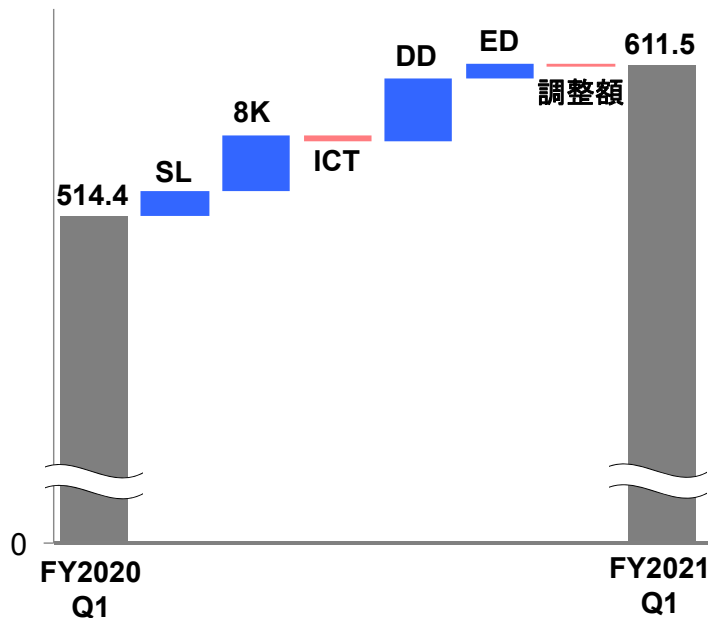
- ・高付加価値化を進めた白物家電とテレビが大きく伸長
- ・新型コロナウイルスの影響から、前年同期は業績が落ち込んだMFP事業とディスプレイデバイスが大幅に回復

売上高

営業利益

(単位:十億円)

(単位:十億円)



- ・ 次のスライドは、前年同期からの売上高と営業利益の増減をセグメント別にまとめております。

- ・ 2021年度の第1四半期は、高付加価値化を進めた白物家電とテレビが大きく伸長し、新型コロナウイルスの影響から、前年同期は業績が落ち込んだMFP事業、ディスプレイデバイスが大幅に回復しました。

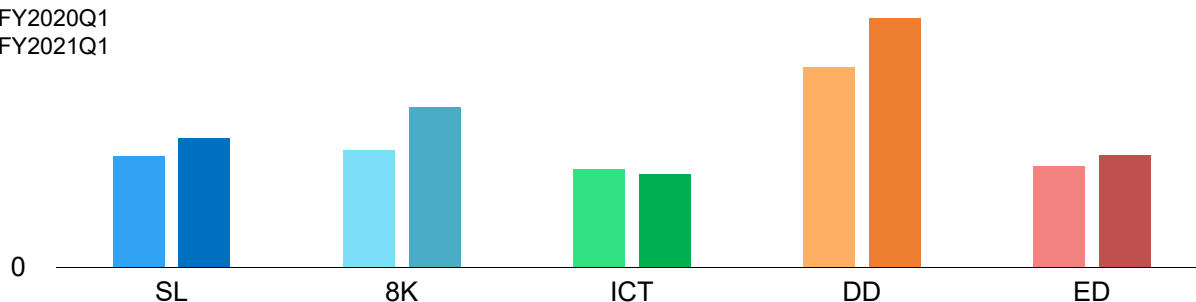
その結果、ご覧のように、スマートライフ、8Kエコシステム、ディスプレイデバイスの3セグメントで、売上高・営業利益が大きく伸長し、全社の増収増益を牽引しています。

セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2020年度				2021年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前同比
スマートライフ	95.3	116.7	117.6	125.7	111.0	+16.4%
8Kエコシステム	100.5	127.4	127.4	137.6	137.5	+36.8%
ICT	84.5	77.9	83.1	97.7	80.2	-5.1%
ブランド事業計	280.4	322.1	328.2	361.2	328.7	+17.2%
ディスプレイデバイス	171.8	231.4	215.6	193.7	213.3	+24.1%
エレクトロニックデバイス	86.6	107.5	157.1	77.2	96.5	+11.4%
デバイス事業計	258.5	339.0	372.8	270.9	309.8	+19.8%
小計	539.0	661.1	701.0	632.1	638.6	+18.5%
調整額	-24.5	-32.1	-27.6	-23.1	-27.0	-
合計	514.4	628.9	673.4	609.0	611.5	+18.9%

左棒: FY2020Q1
右棒: FY2021Q1



SHARP

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

6

- ・ 次のスライドは、セグメント別 売上高の一覧です。今回より、5セグメントでの開示となっております。
- ・ 各セグメント毎の状況については、後ほど、ご説明させていただきますが、ブランド事業の売上高は 前年同期比 17.2%増の3,287億円、デバイス事業は 19.8%増の3,098億円となっており、ともに大幅な増収となっております。

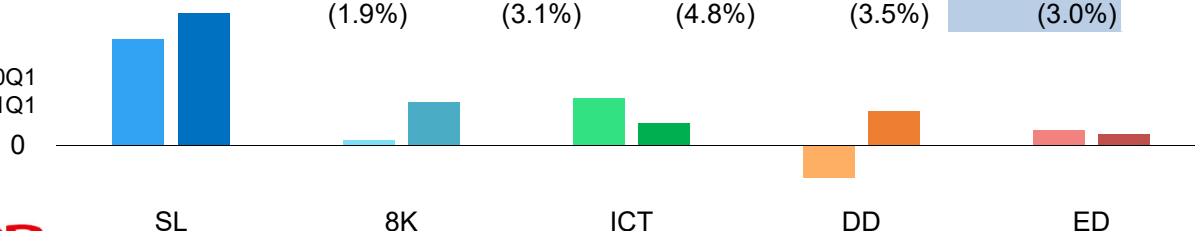
セグメント別営業利益

※()内の数字は営業利益率です。

(単位:十億円)

	2020年度				2021年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前同比
スマートライフ	10.1 (10.7%)	13.3 (11.5%)	16.8 (14.3%)	18.5 (14.7%)	12.6 (11.4%)	+23.9%
8Kエコシステム	0.5 (0.5%)	6.8 (5.4%)	5.1 (4.1%)	3.0 (2.2%)	4.1 (3.0%)	8.3倍
ICT	4.5 (5.4%)	2.7 (3.5%)	3.7 (4.5%)	4.3 (4.5%)	2.1 (2.7%)	-53.4%
ブランド事業	15.2 (5.4%)	22.9 (7.1%)	25.7 (7.8%)	25.8 (7.2%)	18.9 (5.8%)	+24.0%
ディスプレイデバイス	-3.0 (-1.8%)	-0.4 (-0.2%)	2.2 (1.1%)	3.1 (1.6%)	3.3 (1.6%)	-
エレクトロニックデバイス	1.4 (1.7%)	3.2 (3.1%)	9.7 (6.2%)	-1.8 (-2.3%)	1.0 (1.1%)	-26.1%
デバイス事業	-1.5 (-0.6%)	2.8 (0.8%)	12.0 (3.2%)	1.2 (0.5%)	4.3 (1.4%)	-
小計	13.6 (2.5%)	25.7 (3.9%)	37.7 (5.4%)	27.1 (4.3%)	23.3 (3.7%)	+70.5%
調整額	-3.8	-5.9	-5.4	-6.0	-4.9	-
合計	9.8 (1.9%)	19.7 (3.1%)	32.3 (4.8%)	21.1 (3.5%)	18.3 (3.0%)	+86.3%

左棒: FY2020Q1
右棒: FY2021Q1



SHARP

SL

8K

ICT

DD

ED

7

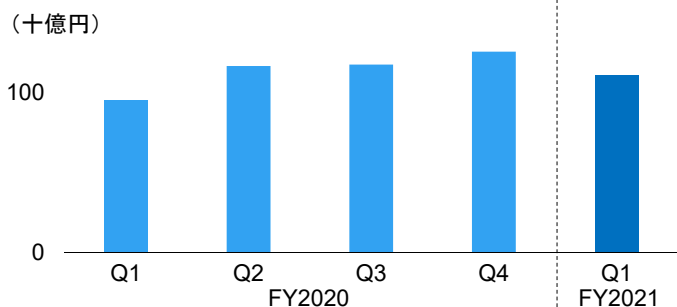
- ・ 続いては、セグメント別 営業利益の一覧になります。
- ・ ブランド事業の営業利益は 前年同期比 24.0%増の 189億円、デバイス事業は 前年同期の15億円の赤字から、58億円回復し、43億円の黒字となりました。

部材隘路や原材料価格の高騰、物流コストの増加による影響はありましたが、営業利益についても、大きく改善しております。

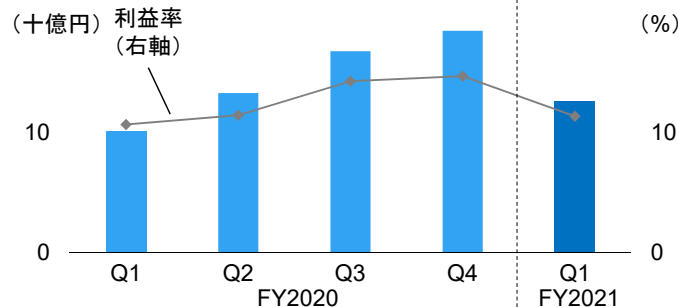
・海外の白物が大きく伸長、国内では冷蔵庫などの大型家電が好調、プラズマクラスターも堅調

(単位:十億円)	2020年度				2021年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前同比
売上高	95.3	116.7	117.6	125.7	111.0	+16.4%
営業利益	10.1	13.3	16.8	18.5	12.6	+23.9%
(利益率)	(10.7%)	(11.5%)	(14.3%)	(14.7%)	(11.4%)	

売上高(増収)



営業利益(増益)



- (増) 国内外で、高付加価値モデルが好調
- (増) 北米で、ビルトイン調理器など調理家電が大幅に増加
- (増) 販促効果もあり、アジアで白物が伸長
- (増) 国内では、冷蔵庫など大型家電が好調、PCI※も堅調
- (増) 国内のEPC事業の売上が増加

- (増) 販売増
- (増) 各事業の原価力の向上
- (増) 白物家電の高付加価値化

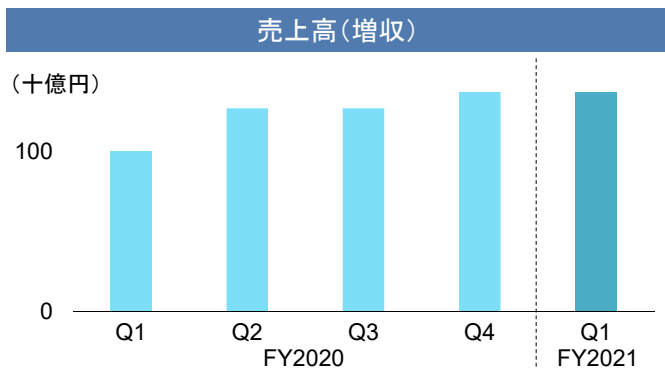


※プラズマクラスター

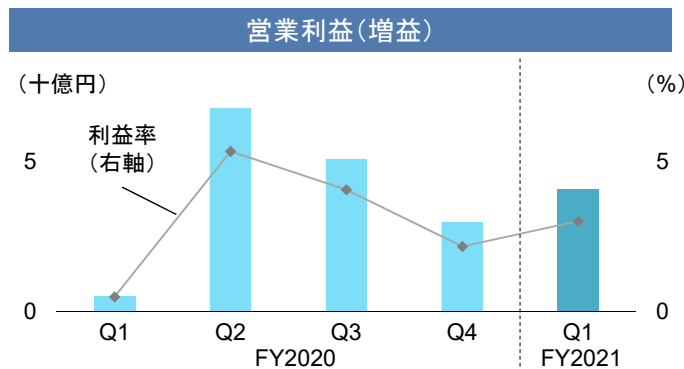
- ・ 次のスライドをご覧ください。セグメント毎の概況になります。まずは、スマートライフです。
- ・ 売上高は、前年同期比 16.4%増の 1,110億円となりました。白物家電は、高付加価値モデルが好調だったこともあり大きく伸長しました。北米では、ビルトイン調理器など調理家電の販売が大幅に増加し、アジアは、販売強化を進めたインドネシア、フィリピンを中心に増収となるなど、海外の売上が大幅に伸長しました。また、国内は、冷蔵庫など大型家電が好調だったほか、プラズマクラスターも引き続き堅調で、2桁の伸長となりました。加えて、エネルギーソリューション事業についても、国内のEPC事業が牽引し、増収となりました
- ・ 営業利益は、23.9%増の 126億円となりました。売上が増加したこと、原価力が向上したことなどにより両事業とも増益となりました。

・ビジネスソリューション事業が大幅に回復、テレビは国内外で大きく伸長

(単位:十億円)	2020年度				2021年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前同比
売上高	100.5	127.4	127.4	137.6	137.5	+36.8%
営業利益 (利益率)	0.5 (0.5%)	6.8 (5.4%)	5.1 (4.1%)	3.0 (2.2%)	4.1 (3.0%)	8.3倍



- (増) BS※1事業(MFP)でプリントボリュームなどが回復
- (増) テレビは、高付加価値化を進めたことなどから、国内外で大きく伸長
- (増) SNDS※2の連結効果



- (増) BS事業の回復
- (増) テレビの売上が増加
- (減) 部材価格の上昇・物流コストの増加



※1 ビジネスソリューション

※2 シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社

・ 次は、8Kエコシステムです。

・ 売上高は、前年同期比 36.8%増の 1,375億円と大幅な増収となりました。前年同期は新型コロナウイルスの影響からプリントボリュームが減少するなど、業績が大きく落ち込んでいたビジネスソリューション事業も順調に回復しております。

また、高付加価値化を進めたこともあり、国内外でのテレビの売上が、大きく伸長しました。

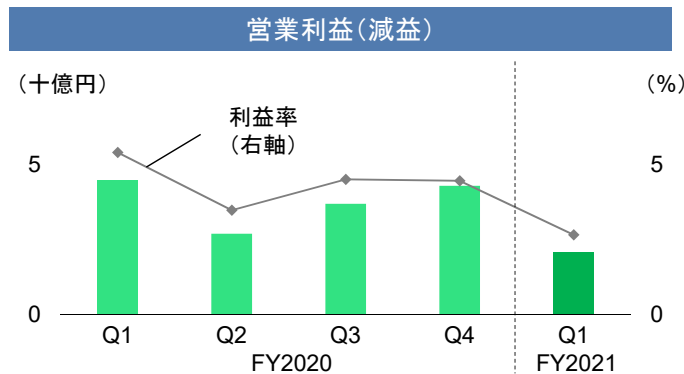
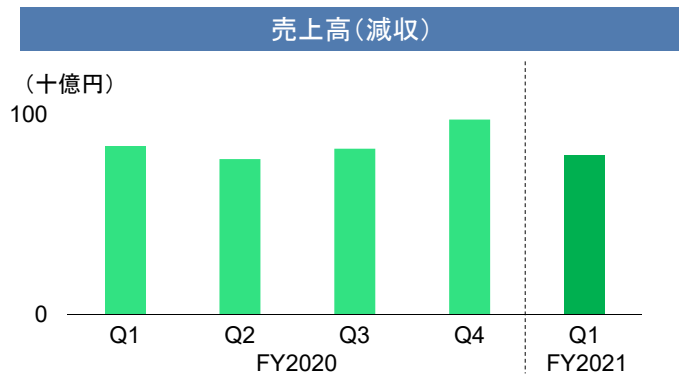
このほか、シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社を連結した効果もありました。

・ 営業利益は、8.3倍の 41億円となりました。

ビジネスソリューション事業が回復していることに加え、テレビの売上が増加したことなどもあり、大幅な増益となりました。

・部材隘路やマーケット変化の影響は受けたものの、通信・PC事業とも黒字を確保

(単位:十億円)	2020年度				2021年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前同比
売上高	84.5	77.9	83.1	97.7	80.2	-5.1%
営業利益	4.5	2.7	3.7	4.3	2.1	-53.4%
(利益率)	(5.4%)	(3.5%)	(4.5%)	(4.5%)	(2.7%)	



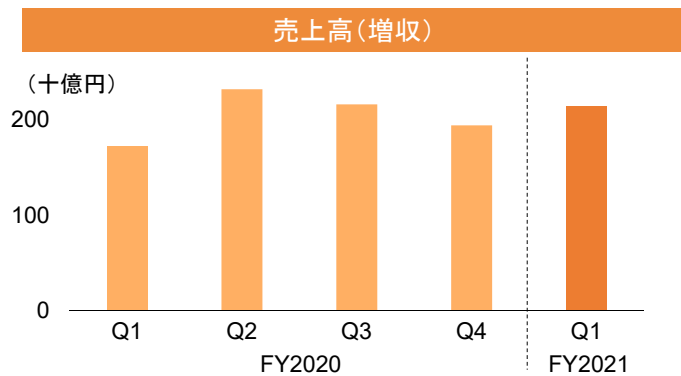
- (減) 部材隘路の影響
- (減) スマホでミドルレンジモデルの比率が増加
- (増) 欧州で教育向けPCが伸長

- (減) 販売減
- (減) 半導体などの価格が上昇
- (減) スマホでモデルミックスが変化

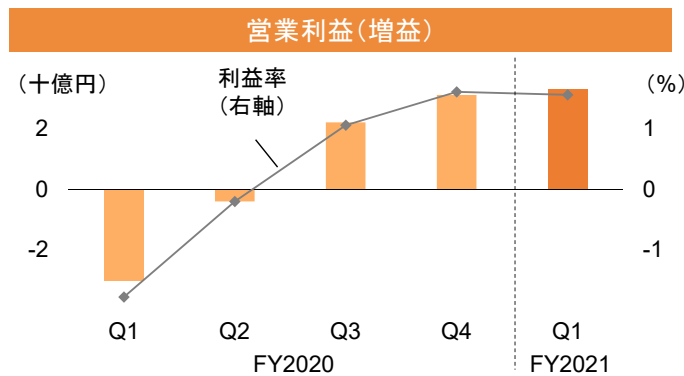
- ・ 次のスライドをご覧ください。ICTになります。
- ・ 売上高は、前年同期比 5.1%減の 802億円となりました。
当セグメントで半導体が隘路となったことに加え、通信事業で、ミドルレンジモデルの販売比率が増加したことなどによるものです。ただし、海外のPC事業については、欧州で教育向けなどが大幅に伸長し、増収となっています。
- ・ 営業利益は、53.4%減の 21億円となりました。
販売が減少したことに加え、半導体をはじめ部材価格が全般的に上昇したことなどによるものです。
ただ、こうした状況下にあっても、通信事業・PC事業は、引き続き、着実に黒字を確保しております。

・半導体隘路の影響はあるも、中型パネルが伸長、前年同期から大幅に回復

(単位:十億円)	2020年度				2021年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前同比
売上高	171.8	231.4	215.6	193.7	213.3	+24.1%
営業利益	-3.0	-0.4	2.2	3.1	3.3	-
(利益率)	(-1.8%)	(-0.2%)	(1.1%)	(1.6%)	(1.6%)	



- (増) 車載向けディスプレイが伸長
- (増) PC・タブレット向けも堅調
- (減) スマホ向けが減少
- (減) 半導体隘路の影響

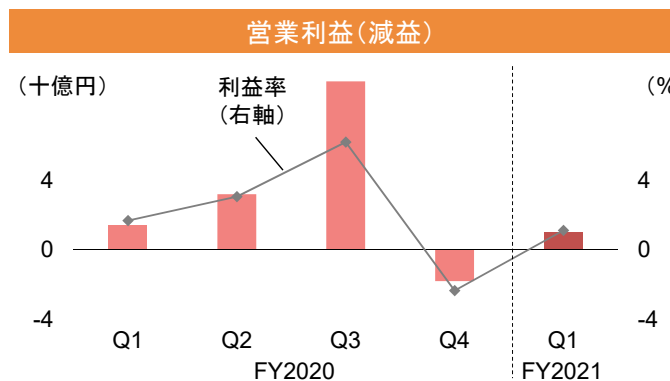
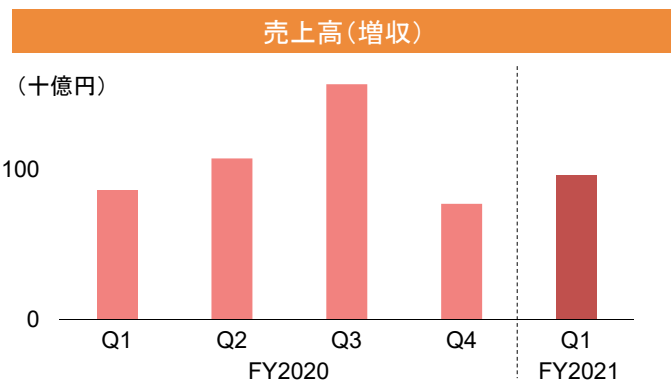


- (増) 中型ディスプレイの販売増
- (減) 半導体などの価格が上昇

- ・次は、ディスプレイデバイスです。
- ・売上高は、前年同期比 24.1%増の 2,133億円となりました。
半導体隘路の影響はありましたが
車載向けが回復し、PC・タブレット向けも堅調に推移するなど
中型ディスプレイの販売が伸長しました。
- ・営業利益は、前年同期の 30億円の赤字から、63億円回復し、
33億円の黒字となりました。
中型ディスプレイを中心に販売が増加したことなどによるものです。

・堅調な顧客需要を着実に取りこむ

(単位:十億円)	2020年度				2021年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前同比
売上高	86.6	107.5	157.1	77.2	96.5	+11.4%
営業利益 (利益率)	1.4 (1.7%)	3.2 (3.1%)	9.7 (6.2%)	-1.8 (-2.3%)	1.0 (1.1%)	-26.1%



(増) 堅調な顧客需要を取り込む

(減) 原材料価格の上昇

- ・ 次のスライドは、エレクトロニックデバイスになります。
- ・ 売上高は、前年同期比 11.4%増の 965億円となりました。
堅調な顧客需要を着実に取りこみ、増収となりました。
- ・ 営業利益は、原材料価格の上昇などにより、26.1%減の 10億円となりましたが、赤字だった2020年度の第4四半期から黒字転換しています。

営業外損益・特別損益・法人税等の概要

(単位:十億円)

	2020年度				2021年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前同 増減額
営業利益	9.8	19.7	32.3	21.1	18.3	+8.5
営業外損益	+1.4	-1.1	-18.3	-1.7	+7.2	+5.8
内:支払利息	-1.2	-1.5	-1.3	-1.3	-1.3	-0.1
為替差損益	+2.2	+1.3	+0.8	+1.0	+3.2	+1.0
持分法による投資損益	-0.6	-2.8	-15.3	+2.1	+4.3	+4.9
経常利益	11.2	18.5	13.9	19.3	25.6	+14.4
特別損益	-0.2	-0.1	+8.6	-4.9	+0.7	+0.9
内:固定資産売却益	+2.8	-	+2.6	+0.1	+0.1	-2.7
固定資産受贈益	-	-	+6.1	+0.5	+0.7	+0.7
減損損失	-0.8	-0.1	-0.1	-5.2	-	+0.8
投資有価証券評価損	-2.0	-	-	-	-	+2.0
税前利益	11.0	18.4	22.5	14.3	26.3	+15.3
法人税等 他	-2.8	-2.8	-5.1	-2.2	-4.6	-1.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	8.1	15.5	17.3	12.1	21.6	+13.5

SHARP

13

- ・ 次のスライドは、主な「営業外損益」・「特別損益」・「法人税等」の概要です。
- ・ 2021年度の第1四半期には、
営業外損益として、持分法による投資利益などを計上しております。

連結貸借対照表推移

- ・現預金は 2,660億円、純資産は 3,683億円、自己資本比率は 18.5%となる
 - 前年同期比 2.6倍となる 216億円の最終利益を計上
 - 財務状況の改善に伴い有利子負債を約500億円削減
 - 配当金の支払いや第2四半期以降の需要に備えた在庫の積み増しなどを実施

(単位:十億円)

	2020年度		2021年度		2020年度		2021年度
	12月末	3月末	6月末		12月末	3月末	6月末
現預金	259.0	341.9	266.0	買掛金等	420.3	396.4	416.2
売掛金等	505.7	457.6	502.4	短期借入金	195.2	163.0	116.1
棚卸資産	268.4	263.0	294.8	1年内社債	0.0	0.0	0.0
その他	157.4	126.1	113.3	その他	318.3	326.1	340.7
流動資産計	1,190.6	1,188.7	1,176.6	流動負債計	933.9	885.5	873.1
有形固定資産	444.6	438.4	440.0	社債	0.0	0.0	0.0
無形固定資産	45.3	45.1	45.0	長期借入金	560.3	561.8	558.4
投資その他資産	257.1	254.8	250.9	その他	131.9	115.6	112.6
固定資産計	747.2	738.4	736.0	固定負債計	692.3	677.5	671.1
資産合計	1,937.8	1,927.2	1,912.6	純資産	311.5	364.1	368.3
				負債純資産合計	1,937.8	1,927.2	1,912.6
期末日レート							
ドル円	102.52	109.72	109.61	自己資本比率	15.3%	18.2%	18.5%
ユーロ円	125.49	128.26	130.13	自己資本	297.3	350.3	354.7

SHARP

14

- ・ 続いては、貸借対照表の推移です。
- ・ 第1四半期には、前年同期比 2.6倍となる 216億円の最終利益を計上した一方、財務状況の改善に伴い有利子負債を約500億円削減しています。また、配当金の支払いや第2四半期以降の需要に備えた在庫の積み増しなども行いました。

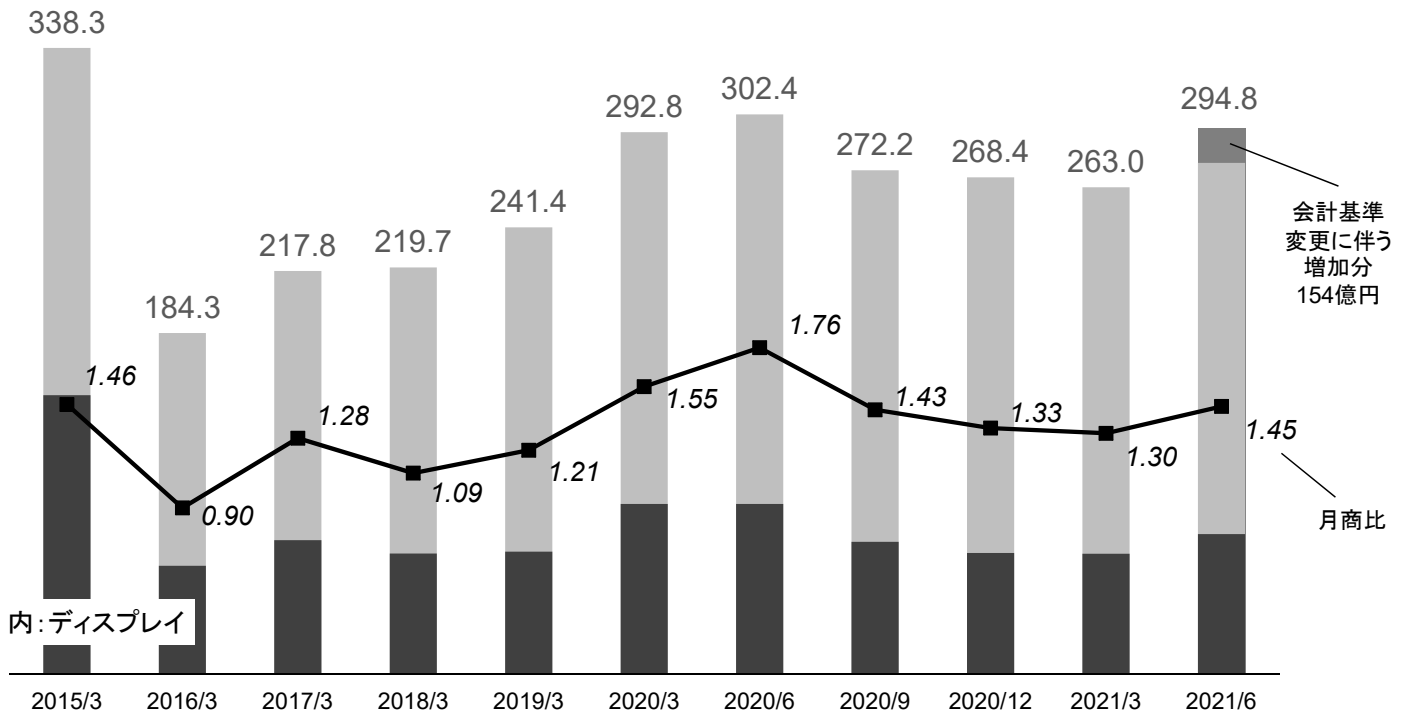
その結果、

2021年6月末の「現預金」は 3月末の 3,419億円に対し、2,660億円、「純資産」は 3,641億円に対し、3,683億円、「自己資本比率」は 18.2%に対し、18.5%となりました。

棚卸資産の推移

- ・2021年6月末の棚卸資産は2,948億円となり、
会計基準の変更による影響を除くと2021年3月末から163億円の増加
- ・第2四半期以降の需要を勘案した適正な在庫水準

(単位:十億円、ヶ月)



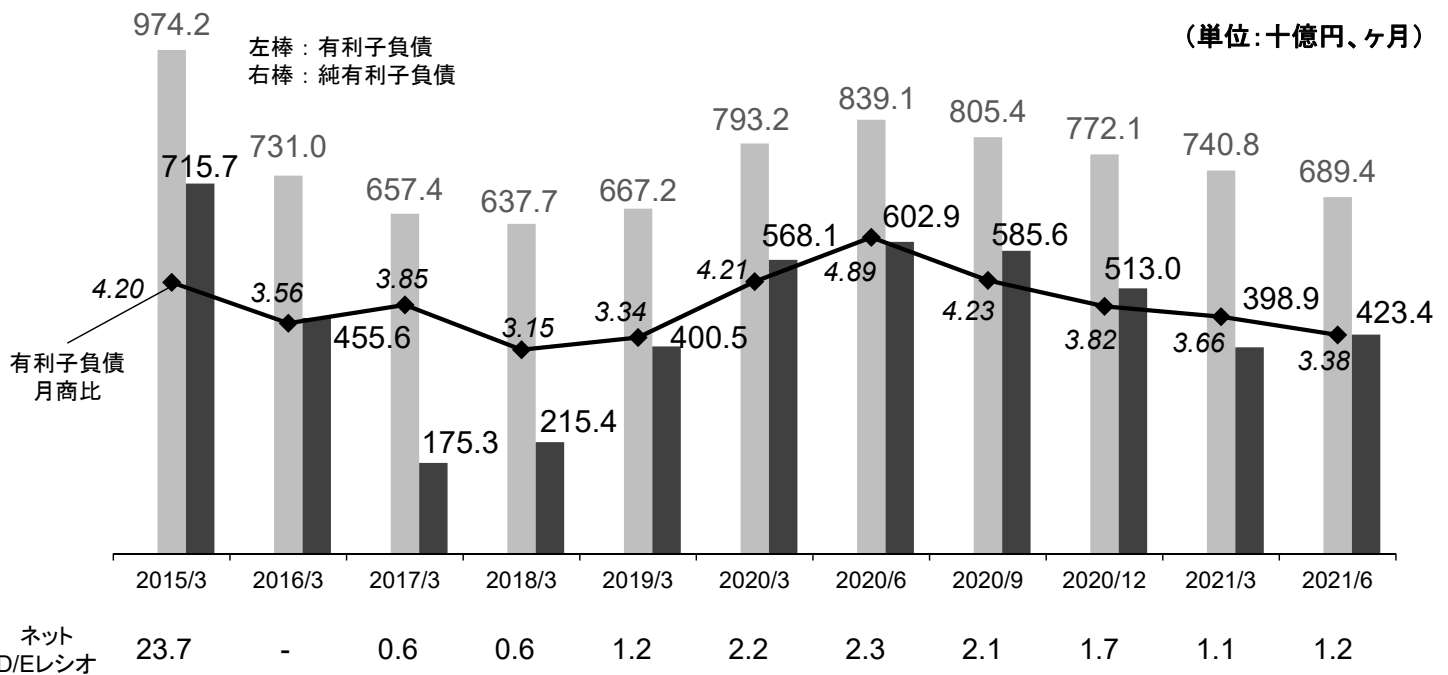
SHARP

15

- ・次のスライドをご覧ください。「棚卸資産」の推移になります。
- ・2021年6月末の「棚卸資産」は、3月末から318億円増の2,948億円、
月商比では1.45ヶ月となっております。
ただし、会計基準の変更による影響を除くと、163億円の増加で、
第2四半期以降の需要を勘案した適正な在庫水準となっております。
- ・新型コロナウイルスや半導体の需給環境、米中貿易摩擦の動向、
それらに伴うデバイス顧客の需要動向など、
事業環境の変化をさらに注視し、適正な在庫水準の維持に努めてまいります。

有利子負債の推移

- ・有利子負債は、2021年3月末の7,408億円に対し、514億円減の6,894億円に、月商比は、3.66ヶ月に対し、3.38ヶ月に
- ・純有利子負債※は、配当金の支払いなど第1四半期特有の要因もあり、4,234億円になる



※純有利子負債：有利子負債 - 現預金

SHARP

16

- ・ 次のスライドは、有利子負債の推移です。
- ・ 2021年6月末の有利子負債は、3月末の7,408億円から、514億円減少し、6,894億円となりました。
純有利子負債は、配当金の支払いなど第1四半期特有の要因もあり3月末の3,989億円に対し、4,234億円に増加しています。
- ・ 今後とも、在庫の適正化や、効率的な設備投資の実施に努め、キャッシュフローの改善を図ります。

2021年度 連結業績予想・新市場区分

<2021年度 業績予想>

半導体隘路や原材料価格高騰、物流コスト増に加え、
足もと、新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う影響も見られるものの
業績は、ほぼ想定通りに進捗していることから、前回予想を据え置く

(単位:十億円)

	2020年度	2021年度	
	通期	通期予想	前年比
売上高	2,425.9	2,550.0	+5.1%
営業利益 (利益率)	83.1 (3.4%)	101.0 (4.0%)	+21.5%
経常利益 (利益率)	63.1 (2.6%)	91.0 (3.6%)	+44.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (利益率)	53.2 (2.2%)	76.0 (3.0%)	+42.7%
平均為替レート			
ドル円	105.06	108.00	
ユーロ円	122.20	126.00	

<新市場区分>

東京証券取引所による一次判定でプライム市場の上場維持基準に適合していることを確認、
プライム市場を選択し、申請を行う

SHARP

17

- ・ 次のスライドは、2021年度の連結業績予想・新市場区分になります。
- ・ まず、業績予想です。
半導体隘路や原材料価格の高騰、物流コストの増加に加え、
足もとでは新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う影響なども見られますが
業績は、ほぼ想定通りに進捗していることから、
売上高、各利益とも、5月11日に公表した前回予想を据え置いております。
- ・ また、新市場区分については、
一次判定でプライム市場の上場維持基準に適合していることが
確認できております。
本日の取締役会で決議を行っておりますので、プライム市場を選択し、
申請を行います。

Ⅱ. 補足資料

- ・ 補足資料として、「セグメント別売上高・営業利益」等の実績をまとめております。
- ・ 第1四半期の業績は堅調に推移しましたが、すでに顕在化している半導体隘路に加え、足もとでは新型コロナウイルスの感染が再拡大し、ベトナムなど東南アジアを中心にロックダウンも実施されています。
- ・ 特に生産面で影響が出てくる可能性があります、柔軟に生産移管を行うなど、的確な対応を図ることでリスクをミニマイズしてまいります。
同時に、こうした厳しい環境変化を社会貢献と事業変革の機会とも捉え、新規領域での事業展開をさらに加速してまいります。
- ・ そして、通期の業績予想を必達するとともに、強いブランド企業“SHARP”を早期に確立してまいります。
- ・ ご清聴ありがとうございました。

連結業績概要

(単位:十億円)

	2020年度			2021年度
	上期	下期	通期	通期予想
売上高	1,143.4	1,282.4	2,425.9	2,550.0
営業利益	29.6	53.4	83.1	101.0
(利益率)	(2.6%)	(4.2%)	(3.4%)	(4.0%)
経常利益	29.8	33.2	63.1	91.0
(利益率)	(2.6%)	(2.6%)	(2.6%)	(3.6%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	23.7	29.4	53.2	76.0
(利益率)	(2.1%)	(2.3%)	(2.2%)	(3.0%)

SHARP

補足-2

四半期 連結業績概要

(単位:十億円)

	2020年度				2021年度
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
売上高	514.4	628.9	673.4	609.0	611.5
営業利益	9.8	19.7	32.3	21.1	18.3
(利益率)	(1.9%)	(3.1%)	(4.8%)	(3.5%)	(3.0%)
経常利益	11.2	18.5	13.9	19.3	25.6
(利益率)	(2.2%)	(3.0%)	(2.1%)	(3.2%)	(4.2%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8.1	15.5	17.3	12.1	21.6
(利益率)	(1.6%)	(2.5%)	(2.6%)	(2.0%)	(3.5%)

SHARP

補足-3

セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2020年度		
	上期	下期	通期
スマートライフ	212.0	243.4	455.5
8Kエコシステム	227.9	265.0	493.0
ICT	162.5	180.9	343.4
ブランド事業計	602.6	689.4	1,292.0
ディスプレイデバイス	403.3	409.4	812.7
エレクトロニックデバイス	194.2	234.3	428.5
デバイス事業計	597.6	643.7	1,241.3
小計	1,200.2	1,333.2	2,533.4
調整額	-56.7	-50.8	-107.5
合計	1,143.4	1,282.4	2,425.9

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

補足-4

セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	2020年度		
	上期	下期	通期
スマートライフ	23.5 (11.1%)	35.3 (14.5%)	58.8 (12.9%)
8Kエコシステム	7.3 (3.2%)	8.1 (3.1%)	15.5 (3.1%)
ICT	7.2 (4.5%)	8.1 (4.5%)	15.4 (4.5%)
ブランド事業計	38.1 (6.3%)	51.6 (7.5%)	89.8 (7.0%)
ディスプレイデバイス	-3.5 (-0.9%)	5.3 (1.3%)	1.8 (0.2%)
エレクトロニックデバイス	4.7 (2.4%)	7.9 (3.4%)	12.6 (3.0%)
デバイス事業計	1.2 (0.2%)	13.3 (2.1%)	14.5 (1.2%)
小計	39.4 (3.3%)	64.9 (4.9%)	104.3 (4.1%)
調整額	-9.7	-11.4	-21.2
合計	29.6 (2.6%)	53.4 (4.2%)	83.1 (3.4%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

補足-5

四半期 セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2020年度				2021年度
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
スマートライフ	95.3	116.7	117.6	125.7	111.0
8Kエコシステム	100.5	127.4	127.4	137.6	137.5
ICT	84.5	77.9	83.1	97.7	80.2
ブランド事業計	280.4	322.1	328.2	361.2	328.7
ディスプレイデバイス	171.8	231.4	215.6	193.7	213.3
エレクトロニックデバイス	86.6	107.5	157.1	77.2	96.5
デバイス事業計	258.5	339.0	372.8	270.9	309.8
小計	539.0	661.1	701.0	632.1	638.6
調整額	-24.5	-32.1	-27.6	-23.1	-27.0
合計	514.4	628.9	673.4	609.0	611.5

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

補足-6

四半期 セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	2020年度				2021年度
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
スマートライフ	10.1 (10.7%)	13.3 (11.5%)	16.8 (14.3%)	18.5 (14.7%)	12.6 (11.4%)
8Kエコシステム	0.5 (0.5%)	6.8 (5.4%)	5.1 (4.1%)	3.0 (2.2%)	4.1 (3.0%)
ICT	4.5 (5.4%)	2.7 (3.5%)	3.7 (4.5%)	4.3 (4.5%)	2.1 (2.7%)
ブランド事業計	15.2 (5.4%)	22.9 (7.1%)	25.7 (7.8%)	25.8 (7.2%)	18.9 (5.8%)
ディスプレイデバイス	-3.0 (-1.8%)	-0.4 (-0.2%)	2.2 (1.1%)	3.1 (1.6%)	3.3 (1.6%)
エレクトロニックデバイス	1.4 (1.7%)	3.2 (3.1%)	9.7 (6.2%)	-1.8 (-2.3%)	1.0 (1.1%)
デバイス事業計	-1.5 (-0.6%)	2.8 (0.8%)	12.0 (3.2%)	1.2 (0.5%)	4.3 (1.4%)
小計	13.6 (2.5%)	25.7 (3.9%)	37.7 (5.4%)	27.1 (4.3%)	23.3 (3.7%)
調整額	-3.8	-5.9	-5.4	-6.0	-4.9
合計	9.8 (1.9%)	19.7 (3.1%)	32.3 (4.8%)	21.1 (3.5%)	18.3 (3.0%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

補足-7

設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	2020年度			2021年度
	上期	下期	通期	通期予想
設備投資	21.8	69.6	91.5	70.0
内:ディスプレイ	6.4	56.6	63.1	23.0
減価償却費	29.6	33.9	63.5	80.0
研究開発費	43.0	43.7	86.7	95.0

(単位:円)

平均為替レート	2020年度			2021年度
	上期	下期	通期	通期予想
米ドル	105.92	104.20	105.06	108.00
ユーロ	119.79	124.61	122.20	126.00

SHARP

補足-8

四半期 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	2020年度				2021年度
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
設備投資	10.1	11.6	60.7	8.9	13.4
内:ディスプレイ	4.4	2.0	51.9	4.7	7.4
減価償却費	15.2	14.4	16.4	17.4	15.3
研究開発費	20.3	22.6	21.9	21.7	19.6

(単位:円)

平均為替レート	2020年度				2021年度
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
米ドル	106.62	105.22	103.51	104.90	108.49
ユーロ	116.97	122.61	123.03	126.18	130.45

SHARP

補足-9

SHARP

Be Original.

